

問題 大量に廃棄される家庭電化製品などにふくまれる鉱産資源の活用をはかることは、天然の鉱産資源にめぐまれていない日本にとって、どのような利点があると考えられるか、右の資料から読み取れることに関連づけて書きなさい。

鉱産資源	世界の埋蔵量 (t)	日本の蓄積量 (t)
金	42000	6800
銀	270000	60000
インジウム	11000	1700

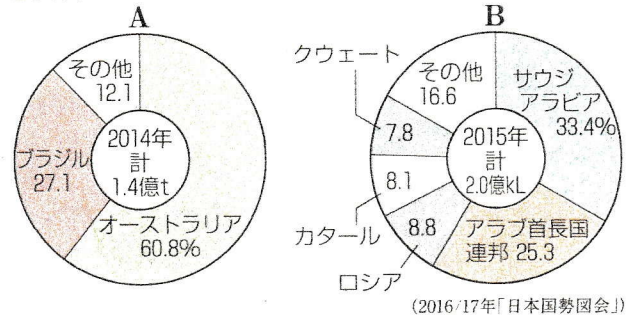
注1 蓄積量は家庭電化製品などのなかにふくまれる鉱産資源の合計量のこと。
 注2 インジウムは液晶パネルの電極などに用いられる。
 (物質・材料研究機構資料)

(蓄積量が多いので、資源を再利用することができ、新しい資源の消費量をおさえられる。)

問 (1) 右の資料1のA、Bの資源を、次から一つずつ選りなさい。

資料1 日本の資源の輸入相手先

- 石炭
- 原油
- 液化天然ガス
- 鉄鉱石



A ... (鉄鉱石)
 B ... (原油)

(2) 資源を節約し、環境汚染を防ぐため、家電製品などを回収して資源が再生利用されている。下線部を表すことばを書きなさい。

(リサイクル)

(3) (2)の取り組みや再生可能エネルギーの開発を進め、現在と将来の両方の世代が資源を利用し、開発を行うことができる社会を何といいますか。

(持続可能な社会)